

# 50の「？」に小中学生挑む

## 銀店街 自ら企画や運営も担当

沖縄に関する問題などクイズに答える小中学生  
学生＝沖縄市照屋・銀天街



【沖縄】子どもたちの学習支援とキャリア教育の実践に取り組むNPO法人エンカレッジ(坂崎紀理事長)は8日、商店街を舞台に小中学生ら約500人を集めた「クイズフェスティバル2009 in 銀天街」を開催した。

子どもや女性支援を行う「アジアチャイルドサポート」に寄付する。

クイズ大会は、県花や県木、黒砂糖を最初につくった人を3択で当てる計50問で実施。決勝には琉球キングスの選手も登場した。選手の自己紹介の内容を覚えて答えるクイズや、選手の指導の下9個のリンクが並んだ特設バスケットリンクにボールを入れるゲームなど、約3時間のフェスティバルを楽しんだ。

キャリア教育で学んだ小中学生が、アイデアを出し合うなどフェスティバルの企画、運営を担当。ポップコーンやかき氷などが並んだ子ども屋台の売り上げは、アジアの子